

教 育 委 員 会 会 議 次 第

令和 3 年11月24日(水)

午後 3 時 30 分～

函南町役場 3 階 教育委員会室

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 教育長の報告その他事務事業の報告

4 付議案件

議案第47号 令和 4 年度函南町立幼稚園入園許可について

議案第48号 令和 3 年度函南町一般会計「教育費」補正予算について

議案第49号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について

5 報 告

報告第 2 号 令和 3 年度教育課程等変更届について

報告第 3 号 令和 4 年度保健体育における水泳授業の実施について

6 そ の 他

(1) 函南町教育委員会自己点検評価

(2) 後援申請

田方文化協会 文化祭

(3) 令和 4 年新年初顔合わせ及び教育委員会関係表彰者

令和 4 年 1 月 5 日(水) 10 : 00～ 函南町文化センター(受付 9 : 00～)

被表彰者については、別紙参照

(4) 次回委員会開催予定

定例会 令和 3 年12月22日(水) 13 : 10～ 函南町役場 3 階 教育委員会室

教育長関係報告事項

令和3年11月24日（水）

月日	曜日	内 容
10月14日	木	・ 函南中学校人事管理訪問（8：00～） ・ 桑村小学校人事管理訪問（13：00～）
10月15日	金	・ 東中学校人事管理訪問（8：00～）
10月18日	月	・ 田方支部支部長来庁（9：00～）
10月19日	火	・ 再任用選考委員会（9：00～） ・ 主幹・教務主任研修会（15：00～）
10月20日	水	・ 丹那小学校指導訪問（9：00～）
10月21日	木	・ 田方教員研修協議会職員来庁（10：00～） ・ 幼稚園・保育園園長会議（14：00～）
10月25日	月	・ 課長等連絡会議（8：40～） ・ 企画会議（9：00～） ・ 教育奨励賞検討委員会（15：00～）
10月26日	火	・ 不登校連絡会（15：00～）
10月28日	木	・ 2年目教員研修会（15：00～） ・ まちづくりブロック懇談会〔西小学校区〕（19：00～）
10月29日	金	・ 東中学校体育大会（9：00～）
10月30日	土	・ まちづくりブロック懇談会〔東小学校区〕（19：00～）
11月1日	月	・ 町内校長会（9：00～） ・ 教頭研修会（14：00～）
11月4日	木	・ 特別支援コーディネーター研修会（15：00～）
11月5日	金	・ 函南町あいさつ運動（7：20～）
11月8日	月	・ 企画会議（9：00～） ・ 田方地区教育長・校長代表者会（15：30～） ・ まちづくりブロック懇談会〔函南小学校区〕（19：00～）
11月10日	水	・ 第2回市町教育委員会訪問（14：30～）
11月13日	土	・ まちづくりブロック懇談会〔丹那小学校区〕（19：00～）
11月14日	日	・ MOA児童作品展表彰式（10：00～）
11月15日	月	・ お茶振興県民会議（10：00～）
11月16日	火	・ 通級指導担当者研修会（15：00～）
11月17日	水	・ 函南中学校指導訪問（9：00～）
11月18日	木	・ 田方地区初任者研修会（9：00～） ・ 市町村教育委員会オンライン協議会（13：00～）
11月19日	金	・ 三島税務署職員来庁（14：00～） ・ まちづくりブロック懇談会〔桑村小学校区〕（19：00～）
11月22日	月	・ 課長等連絡会議（8：40～） ・ 企画会議（9：00～） ・ 東中学校指導訪問（9：00～） ・ 幼稚園・保育園園長会議（14：00～）
11月24日	水	・ 第4回静東教育事務所管内市町教育委員会教育長会（9：00～） ・ 定例教育委員会（15：00～） ・ 令和4年度「かなみ生涯学習塾」講師説明会（19：00～）

議案第47号

令和4年度函南町立幼稚園入園許可について

令和4年度函南町立幼稚園入園願書が提出されたので、函南町立幼稚園規則（昭和39年教育委員会規則第1号）第14条第1項の規定により教育委員会の承認を求める。

令和3年11月24日 提出
函南町教育長 久保田 浩子

提案理由

令和4年度の函南町立幼稚園入園希望者について、入園許可の承認を求めるものです。

令和 4 年度 新入園申込書提出者数

参考資料

園/歳児	春光幼稚園		丹那幼稚園		二葉幼稚園		間宮幼稚園		みのり幼稚園		自由ヶ丘幼稚園		合 計	
3歳児	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	14	11	0	1	8	0	6	8	5	5	25	29	58	54
	25		1		8		14		10		54		112	
4歳児	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	2
	3		0		0		1		0		0		4	
5歳児	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	0		0		1		0		0		0		1	
合 計	28		1		9		15		10		54		117	

令和3年度幼稚園園児数一覧表 (令和3年11月1日 現在の在園児数)

歳児 園	3 歳 児					4 歳 児					5 歳 児					合 計			クラス編成 定員 計
	男	女	計	クラス数	定員	男	女	計	クラス数	定員	男	女	計	クラス数	定員	男	女	計	
春光幼稚園	14	11	25	1	25	17	10	27	1	35	16	27	43	2	70	47	48	95	130
丹那幼稚園	2	2	4	1	20	4	4	8	1	35	5	1	6	0	0	11	7	18	55
二葉幼稚園	6	4	10	1	20	7	7	14	1	35	7	6	13	1	35	20	17	37	90
間宮幼稚園	7	13	20	1	20	6	6	12	1	35	7	8	15	1	35	20	27	47	90
みのり幼稚園	6	17	23	1	20	8	10	18	1	35	13	8	21	1	35	27	35	62	90
自由ヶ丘幼稚園	25	22	47	2	50	21	28	49	2	70	36	34	70	3	105	82	84	166	225
合 計	60	69	129	7	155	63	65	128	7	245	84	84	168	8	280	207	218	425	680

幼稚園規則定員合計

1,060

クラス編成定員

680

令和4年度幼稚園入園見込及び令和3年度比較

令和3年11月17日 現在 (令和3年度は、R3.11.1現在)

		3歳児クラス						4歳児クラス						5歳児クラス						合 計				
		男	女	計	クラス数	定員		男	女	計	クラス数	定員		男	女	計	クラス数	定員		男	女	計	クラス数	
春光幼稚園	R3	14	11	25	1	25	R3	17	10	27	1	35	R3	16	27	43	2	70	R3	47	48	95	4	
	R4	14	11	25	1	25	R4	15	13	28	1	35	R4	17	10	27	1	35	R4	46	34	80	3	
丹那幼稚園	R3	2	2	4	1	20	R3	4	4	8	1	35	R3	5	1	6	0	0	R3	11	7	18	2	
	R4	0	1	1	1	20	R4	2	2	4	1	35	R4	4	4	8	0	0	R4	6	7	13	2	
二葉幼稚園	R3	6	4	10	1	20	R3	7	7	14	1	35	R3	7	6	13	1	35	R3	20	17	37	3	
	R4	8	0	8	1	20	R4	6	4	10	1	35	R4	7	8	15	1	35	R4	21	12	33	3	
間宮幼稚園	R3	7	13	20	1	20	R3	6	6	12	1	35	R3	7	8	15	1	35	R3	20	27	47	3	
	R4	6	8	14	1	20	R4	8	13	21	1	35	R4	6	6	12	1	35	R4	20	27	47	3	
みのり幼稚園	R3	6	17	23	1	20	R3	8	10	18	1	35	R3	13	8	21	1	35	R3	27	35	62	3	
	R4	5	5	10	1	20	R4	6	17	23	1	35	R4	8	10	18	1	35	R4	19	32	51	3	
自由ヶ丘幼稚園	R3	25	22	47	2	50	R3	21	28	49	2	70	R3	36	34	70	3	105	R3	82	84	166	7	
	R4	25	29	54	3	75	R4	25	22	47	2	70	R4	21	28	49	2	70	R4	71	79	150	7	

R4合計		58	54	112	8	180		62	71	133	7	245		63	66	129	6	210		183	191	374	21
R3合計		60	69	129	7	155		63	65	128	7	245		84	84	168	8	280		207	218	425	22
R3ーR2		△ 2	△ 15	△ 17	1	25		△ 1	6	5	0	0		△ 21	△ 18	△ 39	△ 2	△ 70		△ 24	△ 27	△ 51	△ 1

令和 4 年度 幼稚園入園者数見込

令和3年11月17日 現在

歳児	3歳児クラス					4歳児クラス					5歳児クラス					合 計			
園名	男	女	計	クラス数	定員	男	女	計	クラス数	定員	男	女	計	クラス数	定員	男	女	計	クラス数
春光幼稚園	14	11	25	1	25	15	13	28	1	35	17	10	27	1	35	46	34	80	3
丹那幼稚園	0	1	1	1	20	2	2	4	1	35	4	4	8	0	0	6	7	13	2
二葉幼稚園	8	0	8	1	20	6	4	10	1	35	7	8	15	1	35	21	12	33	3
間宮幼稚園	6	8	14	1	25	8	13	21	1	35	6	6	12	1	35	20	27	47	3
みのり幼稚園	5	5	10	1	25	6	17	23	1	35	8	10	18	1	35	19	32	51	3
自由ヶ丘幼稚園	25	29	54	3	75	25	22	47	2	70	21	28	49	2	70	71	79	150	7
合計	58	54	112	8	190	62	71	133	7	245	63	66	129	6	210	183	191	374	21

※4, 5歳又は3,4歳
複式学級予定

幼稚園規則定員合計 1,060

クラス編成定員合計 645

議案第48号

令和3年度函南町一般会計「教育費」補正予算について

令和3年度函南町一般会計補正予算（第5号）のうち、教育委員会関係補正予算を別紙のとおり作成したので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第29条の規定により、教育委員会の意見を求める。

令和3年11月24日 提出
函南町教育長 久保田 浩子

提案理由

令和3年度函南町一般会計補正予算（第5号）のうち、教育委員会関係補正予算について、町議会の議決を経るべき議案の作成にあたり、教育委員会の意見を求めるものです。

令和3年度 一般会計補正予算（第5号）12月補正予算

学 校 教 育 課 補 正 予 算

（ 事 務 局 事 務 事 業 ）

（教育支援センター事務事業）

（ 小 学 校 管 理 事 業 ）

（小 学 校 教 育 振 興 事 業 ）

（ 中 学 校 管 理 事 業 ）

令和3年度 学校教育課補正予算（第5号）要求一覧表

歳 出

単位：千円

事業名	歳出科目	補正前予算額	補正額	補正後予算額	説 明
事務局事務事業	旅費 普通旅費	229	△ 49	180	会議の中止やZOOM会議への変更により出張予定回数が減ったため、減額の補正予算を計上する。
	使用料及び賃借料 複写機等使用料	360	49	409	各業務における必要な印刷物が増加し、当初予算額より見込額が増額となったため、補正予算を計上する。
小 計		589	0	589	
教育支援センター事務事業	需要費 消耗品	150	16	166	教育支援センターパンフレット作成用の消耗品購入が必要なため、補正予算を計上する。※印刷製本費から支出科目変更
	需要費 印刷製本費	26	△ 26	0	教育支援センターパンフレットを印刷発注から自前作成に変更するため、減額の補正予算を計上する。
	使用料及び賃借料 複写機等使用料	88	10	98	教育支援センターパンフレット作成時に複写機を使用するため、補正予算を計上する。※印刷製本費から支出科目変更
小 計		264	0	264	
小学校管理事業	旅費 普通旅費	178	△ 21	157	会議の中止やZOOM会議への変更により出張予定回数が減ったため、減額の補正予算を計上する。
	役務費 手数料	1,044	21	1,065	桑村小学校調理器清掃の必要数が増加し、当初予算額より見込額が増額となったため、補正予算を計上する。
	使用料及び賃借料 複写機等使用料	1,559	92	1,651	学校運営上必要な印刷物が増加し、当初予算額より見込額が増額となったため、補正予算を計上する。丹那小学校不足額60,000円、西小学校不足額31,500円 …不足額計92千円
小 計		2,781	92	2,873	
小学校教育振興事業	需用費 修繕料	787	289	1,076	GIGAスクール用端末の落下等過失による修繕件数が増加し、当初予算額より見込額が増額となったため、補正予算を計上する。 9月まで小学校で8台を修理。1台あたり平均42,666円 画面ひび割れ単価41,800円で下半期8台分を見込む …不足額289千円
小 計		787	289	1,076	
中学校管理事業	職員手当 時間外勤務手当	330	191	521	各種調査報告や教育実習受け入れ等により時間外勤務が増加したため、補正予算を計上する。
	使用料及び賃借料 複写機等使用料	1,071	58	1,129	函南中学校の学校運営上必要な印刷物が増加したため、補正予算を計上する。
小 計		1,401	249	1,650	
合 計		5,822	630	6,452	

令和3年度 一般会計補正予算（第5号）12月補正予算

生涯学習課 補正予算

（歳入）

（社会教育総務事務事業）

（コミュニティ推進事業）

（文化センター管理事業）

（生涯学習推進事業）

（文化財調査事業）

（図書館等管理事業）

（運動公園等管理事業）

（木立キャンプ場管理事業）

令和3年度 生涯学習課補正予算（第5号）要求一覧表

歳入

単位：千円

充当先事業名	歳入科目	補正前予算額	補正額	補正後予算額	説 明
生涯学習推進事業	諸収入 雑入 雑入 雑入 地域づくり推進事業助成金	2,000	△ 1,288	712	地域づくり推進事業として計上していた3事業の縮小、中止による減額 ・令和4年NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」関連事業の縮小 1,780千円→547千円(△1,233千円) ・仏の里美術館記念講演の中止 55千円→0円(△55千円) ・親子ふれあい映画会は実施予定 165千円
合 計		2,000	△ 1,288	712	

令和3年度 生涯学習課補正予算（第5号）要求一覧表

歳 出

単位：千円

事業名	歳出科目	補正前予算額	補正額	補正後予算額	説 明
社会教育総務事務事業	報酬 会計年度任用職員時間 外勤務手当等相当報酬	32	15	47	成人式配信作業補助のため、応援を依頼する情報政策課の会計年度任用職員時間外手当を計上する。
	旅費 会計年度任用職員費 用弁償	88	49	137	文化センター勤務の会計年度任用職員が、予算想定単価より遠方から勤務しているため、差額分を計上する。
小 計		120	64	184	
コミュニティ推進事業	需用費 修繕費	243	850	1,093	西部コミュニティセンター多目的ホールの外壁目地コーキング、防水シート貼り替え、カーテン開閉器具の修繕料を計上する。
小 計		243	850	1,093	
文化センター管理事業	役務費 手数料	0	58	58	令和4年大河ドラマパブリックビューイングの実施に伴う衛星放送受信設備設置・試験・運営・撤去費用を計上する。
	使用料及び賃借料 テレビ受信料	15	1	16	令和4年大河ドラマパブリックビューイングの実施に伴う衛星放送受信契約1カ月分費用を計上する。
	使用料及び賃借料 賃借料	263	247	510	令和4年大河ドラマパブリックビューイングの実施に伴う4K対応プロジェクター賃借料を計上する。
	工事請負費 工事請負費	4,663	77	4,740	令和5年大河ドラマパブリックビューイングの実施に伴うLAN配線工事費を計上する。 187千円
					文化センターガラス飛散防止フィルム張替工事入札差金を減額計上する。△110千円
	備品購入費 庁用器具費	0	44	44	成人式のインターネット配信を円滑に行うために必要なスイッチャーの購入費用を計上する。
小 計		4,941	427	5,368	
生涯学習推進事業	報償費 報償金	264	△ 232	32	地域づくり推進事業として計上していた3事業の縮小、中止による講師謝礼の減額分を計上する。 ・令和4年NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」関連事業の縮小 208千円→32千円(△176千円) ・仏の里美術館記念講演の中止 55千円→0円(△55千円)
	需用費 消耗品費	180	△ 1	179	地域づくり推進事業として計上していた3事業の縮小による消耗品の端数を減額計上する。 ・令和4年NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」関連事業の縮小
	需用費 印刷製本費	1,111	△ 1	1,110	地域づくり推進事業として計上していた3事業の縮小による印刷費の減額分を計上する。 ・令和4年NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」関連事業の縮小
	役務費 通信運搬費	29	2	31	成人式案内状を、ハガキから封書に変更するため、差額を計上する。
	委託料 事務事業委託料	1,056	△ 1,056	0	地域づくり推進事業として計上していた3事業の縮小による委託料の減額分を計上する。 ・令和4年NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」関連事業の縮小
小 計		2,64	△ 1,288	1,352	

歳 出

単位：千円

事業名	歳出科目	補正前予算額	補正額	補正後予算額	説 明
文化財調査事業	職員手当等 会計年度任用職員期 末手当	352	2	354	期末手当の基礎額が予算見込みを上回ったため差額を計上する。
	共済費 会計年度任用職員保 険料	313	3	316	期末手当の増額補正に係る保険料の増額分を計上する。
小 計		665	5	670	
図書館等管理事業	共済費 会計年度任用職員保 険料	4,009	169	4,178	期末手当の基礎額が予算見込みを上回ったため、これに係る保険料の増額分を計上する。
	需用費 修繕料	50	258	308	知恵の和館多目的室可動間仕切りの故障修繕料を計上する。
小 計		4,059	427	4,486	
運動公園等管理事業	共済費 会計年度任用職員保 険料	1,952	90	2,042	期末手当の基礎額が予算見込みを上回ったため、これに係る保険料の増額分を計上する。
小 計		1,952	90	2,042	
木立キャンプ場管理事業	需用費 修繕料	50	10	60	給水ポンプ圧力スイッチの故障による修繕料の計上する。
	役務費 手数料	0	132	132	令和4年度開場に向けた受水槽清掃・水質検査手数料を計上する。
小 計		50	142	192	
合 計		14,670	717	15,387	

議案第49号

要保護及び準要保護児童生徒の認定について

要保護及び準要保護児童生徒の認定について、教育委員会の承認を求める。

令和3年11月24日 提出
函南町教育長 久保田 浩子

提案理由

保護者から就学援助申請が提出されたので、要保護・準要保護世帯及び新入学学用品費の前倒し支給の認定について教育委員会の承認を求めるものです。

報告第 2 号

令和 3 年度教育課程等の変更届について

函南町立小・中学校管理規則第 5 条第 2 項に基づく令和 3 年度教育課程等の変更について、別紙のとおり届出の内容を報告する。

令和 3 年 11 月 24 日 提出
函南町教育長 久保田 浩子

提案理由

令和 3 年 9 月 24 日議案第 42 号で承認された函南中学校の教育課程等の内容に軽微な変更が生じ届出を受理したため、教育委員会に報告するものです。



教 育 課 程 等 変 更 届

第 1218 号
令 和 3 年 11 月 1 日

函南町教育委員会 様

函南町立函南中学校長

次のとおり令和 3 年度教育課程及び授業日時数を変更したので、届け出ます。

	(変更前)	(変更後)
変 更 の 概 要	・ 修学旅行代替行事（日帰り） （静岡・山梨方面） 5月14日・11月22日・3月14日	・ 修学旅行（日帰り） 5月14日（伊豆方面） 11月22日（静岡方面） 3月14日（東京方面）
変 更 理 由	警戒レベル引き下げに伴う学校行事の変更	

（注）変更部分を朱書した変更前の表及び新たに作成した変更後の表を各 1 部添付すること。

報告第 3 号

令和 4 年度保健体育における水泳授業の実施について

函南中学校から令和 4 年度保健体育における水泳授業の実施について、別紙のとおり提出があったので、その内容を報告する。

令和 3 年11月24日 提出
函南町教育長 久保田 浩子

提案理由

中学校学習指導要領（平成29年 3 月告示）に基づき函南中学校プールを使用した保健体育の水泳授業について、令和 4 年度以降の実施方針が学校から示されたので、教育委員会に報告するものです。



令和4年度 保健体育における水泳授業の実施について

函南町立函南中学校

1 実施の有無

水泳授業は実施しない

2 理由

(1) 学習指導要領の位置づけ

学習指導要領（第2章 各教科 第7節 保健体育）の内容の取り扱い(2)には、「～なお、水泳の指導については、適切な水泳場の確保が困難な場合にはこれを扱わないことができる～」とある。

(2) 防犯上の観点から

- ・ 令和元年度の水泳授業の際、女子生徒の下着が盗まれる被害が2件発生した。警察の捜査も入ったが、犯人は見つからなかった。以降は、授業のない教員を更衣室前に配置して、事故防止に努めた。（数年前にも、同様の事件が発生している）
- ・ 水泳場の更衣室は死角になっており、外部からの侵入を把握しづらい。（実施する場合には、警備員の配置が必要になる）

(3) 事故防止の観点から

水泳場が学校から離れているため、着替えと往復の時間を考えると授業時間の確保が難しい。授業に遅れないように、生徒が走って移動することが多く、交通事故の心配もある。

(4) 感染防止の観点から

現在、新型コロナウイルスの感染状況は落ち着いてきているが、今後の状況は不透明である。実施する場合は、複数学年で更衣室を利用することになるため、3密を回避することは難しい。感染予防の観点からも、水泳授業の再開は厳しい。

3 地区内中学校の水泳実施の状況

田方地区9校（中学校及び義務教育学校後期課程）のうち、水泳場があるのは伊豆の国市立長岡中と韭山中、そして本校の3校である。伊豆の国市の2校は、どちらも学校の敷地内にあるため、防犯上問題はなく移動の負担も少ない。

4 今後の見通し

水泳授業の実施にあたっては、盗難事件への対応や水泳場までの距離の問題など、配慮すべきことがいくつかある。このことは、学習指導要領に示す「適切な水泳場の確保が困難な場合」に充当する。したがって、学校としては、令和4年度以降も水泳授業は実施しない方向である。





令和 2 年度

函南町教育委員会

自己点検・評価報告書

令和 年 月

函南町教育委員会

目 次

はじめに	1
第1 令和2年度函南町教育委員会の活動等における点検評価の対象	2
1 教育委員会の活動	2
2 教育委員会が管理・執行する事務	2
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	3・4
第2 函南町教育委員会の自己点検・評価シート	5～14
第3 学識経験者による評価	15～17
第4 総合評価	18

はじめに

平成20年4月に施行された地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、函南町教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するため、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について自己点検及び評価を実施し、平成21年3月に最初の報告書をまとめた。以来、毎年度自己点検及び評価を実施している。

本年度は、令和2年度中の函南町教育委員会の事務の管理及び執行状況について14回目の自己点検及び評価を実施した。

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、令和2年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、自己点検及び評価の結果を報告するものである。

令和 年 月

函南町教育長 久保田 浩子

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

第1 令和2年度函南町教育委員会の活動等における点検・評価の対象

1 教育委員会の活動

函南町教育委員会では、毎月1回の定例教育委員会を開催し、令和2年度は、年12回の定例会を開催した。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、年2回の総合教育会議を開催した。

各小・中学校、幼稚園及び生涯学習関係の施設訪問を実施した。

※ 函南町教育委員会主催の成人式、卒業式、入学式、運動会等行事への出席を例年通り予定していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で各種事業の中止や縮小により出席を見合わせる事となった。

2 教育委員会が管理・執行する事務

教育委員会が管理執行する事務は、昭和31年函南町教育委員会規則第2号「教育長に対する事務委任規則」第1条に規定されている以下に示す17項目である。

- (1) 学校教育又は社会教育に関する一般方針を定めること。
- (2) 学校・公民館・文化センター及び図書館の設置及び廃止を決定すること。
- (3) 1件80万円を超える教育財産の取得を申出ること。
- (4) 県費負担教職員の懲戒及び県費負担教員たる校長の任免その他の進退について内申すること。
- (5) 県費負担教職員の服務の監督の一般方針を決めること。
- (6) 前2号に定めるもののほか人事の一般方針を定め及び懲戒を行うこと。
- (7) 県費負担教員以外の校長及び図書館長の任免を行うこと。
- (8) 教育委員会事務局及び教育機関の職員の任免を行うこと。
- (9) 学校・公民館・文化センター及び図書館の敷地を選定すること。
- (10) 1件130万円以上の工事の計画を策定すること。
- (11) 教育委員会規則の制定又は改廃を行うこと。
- (12) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を申出ること。
- (13) 法令及び条例に定めのある附属機関等の委員の任命又は委嘱及び解任又は解職を行うこと。

- (14) 校長・教員その他の教育関係職員の研修の一般方針を定めること。
- (15) 学齢児童生徒の就学すべき学校の区域を設定し又はこれを変更すること。
- (16) 教科用図書の採択に関すること。
- (17) 文化財の指定及び解除に関すること。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

函南町総合教育会議において策定された「教育大綱」に基づき、令和2年度はこれを実施した。なお、「令和2年度教育要覧」に示されている函南町教育行政の方針を以下に記す。

(1) 知性を高め、魅力ある学校づくりの推進

◆学びに向かう力を伸ばす学習

- (ア) 赤ちゃんから高齢者までの読書活動を推進し、生涯学習のまちづくりに向けて、学びの機会の充実やボランティア等指導者の養成と活用を図ります。
- (イ) 児童生徒の情報活用能力の育成に向け、ICTを活用した教育活動を推進し、授業の改善を図ります。

◆勤労観・職業観や郷土愛を育む教育

- (ア) 学校・地域・企業等が連携し、職場体験等の活動キャリア教育を進め、児童生徒一人一人に望ましい勤労観、職業観を育成します。また、中高連携により確かな進路指導に取り組めます。
- (イ) 郷土の歴史や文化に対する誇りや愛着を育むため、文化財等を活用した地域に関する教育を推進します。
- (ウ) スポーツ・健康長寿フェスタを実施し、町民の健康づくりを推進します。

◆質の高い教育と教職員の心身の健康を保持増進する環境整備

- (ア) 教職員の長時間勤務の改善を図ります。
- (イ) 心身ともに健康で「頼もしい教職員」の育成を図り、不祥事根絶に努め、共生社会を支える人権尊重の教育と啓発に取り組めます。
- (ウ) 教職員の大量交代期を迎え、教職員の資質向上が重要な課題となっています。教職員としての専門性やスキルが求められる中、授業力向上をはじめとする諸課題に対応する研修を行います。
- (エ) 部活動を支援する外部指導者の活用等、運動部の部活動の在り方と支援について研究します。

◆子供たちの命を守る安全・安心の確保と教育環境の整備

- (ア) 子供自らが判断し、危険回避能力を身に付ける防災教育、安全教育を実施します。
- (イ) 安心・安全な学校施設の整備のために、教育環境を改善する取り組みを進めます。

◆幼児教育の質の向上

- (ア) 家庭のニーズや保護者の状況に応じた支援により家庭の教育力向上を図り、健康づくり課、子育て支援課、教育委員会等、関係機関と連携し、幼児期教育の充実に努めるために、「幼児教育センター」を新たに設置し、小・中学校への円滑な接続を図ります。

◆特別支援教育の推進

- (ア) 「徳・知・体」のバランスのとれた「生きる力」の育成に取り組み、発達障がい等を含めた幼児、児童生徒の教育的ニーズに対応し、教育の各ステージで指導と支援の充実に努めます。

(2) 未来を拓く多様な人材の育成

◆多様な学習機会の提供

- (ア) 新しい時代を展望した教育行政の推進に向けて、実効性のある施策が展開できるよう各部局と一層の連携を図ります。
- (イ) 地域の教育力を園・学校に生かすために「函南町地域学校協働本部」に地域学校協働活動推進委員を配置し、専門性をもったボランティアの発掘や紹介に努めます。

(3) 社会総がかりで取り組む教育の実現

◆学校と地域の連携・協働の充実

- (ア) 園・学校における教育推進の重点に「交流」の視点を位置付け、「多様な学び」や「体験活動」の充実と活性化を図ります。
- (イ) 各区等での地域活動に児童生徒を積極的に参加させ、幅広い交流活動を通して、互いの理解と信頼を深め合い、成長できる教育風土を醸成します。
- (ウ) 平成29年度に指定した丹那小学校、桑村小学校の取り組みを元に小中学校全7校を「コミュニティ・スクール」とします。地域とともにある学校づくりをテーマに、目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子供たちの豊かな成長を育む教育活動を推進します。
- (エ) 地域共同学校活動推進員を置き、コミュニティ・スクールと地域学校協働本部事業のコーディネートを行います。

◆チームとして児童生徒を支援する体制づくり

- (ア) 児童生徒が自他を大事にする態度や行動力を育み、いじめ、不登校等の解消、家庭に問題を抱える児童生徒への対応のため、教育相談体制の充実や教職員・学校の対応力向上に努めます。
- (イ) 「函南町いじめ防止等生徒指導連絡協議会条例」および「同運営要綱」に則し、いじめの未然防止を第一目標とし、早期発見、早期対応、早期解決を図ります。

第2 函南町教育委員会の自己点検・評価シート

自己点検・評価の考え方

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について自己点検・評価を行う。点検・評価シートでは、教育委員会の責任体制を明確化するため、「教育委員会の活動」、「教育委員会が管理・執行する事務」、「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」に分けた。「教育委員会の活動」では教育委員会会議に係る事項や教育委員研修などの教育委員自身が行っている活動についての点検・評価を行う。「教育委員会が管理・執行する事務」については、函南町教育委員会規則に則り、教育委員会の責任により実行すべき事項について自ら点検を行う。「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」については、『令和2年度教育要覧』に示されている教育行政の方針「函南町教育大綱」の実現に向けてに基づき、目標、基本方針、施策の柱を設定し点検・評価を行う。

《マトリクス表の見方》		
(実現度)		(重要度)
A	… 概ね達成	A … 非常に重要
B	… もう少しで達成	B … 重要
C	… 普通	C … 普通

大項目1 教育委員会の活動

中項目	小項目	マトリクス表	点検・評価									
(1) 教育委員会の会議の運営改善	①教育委員会会議の開催回数	実現度↑ A <table><tr><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> C B A →重要度			★							教育委員会の中核となる会議であるため重要度はAとした。 実現度については開催数と議事内容を指標とした。開催数では、定例教育委員会を毎月開催し、各議題について協議した。必要な回数を満たしたと判断し、実現度をAとした。
			★									
②教育委員会会議の運営上の工夫	実現度↑ A <table><tr><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> C B A →重要度			★							教育委員会の会議運営上のことなので重要度はAとした。 会議だけではなく学校等教育施設訪問を実施して教育現場の実情も把握しており、実現度をAとした。	
		★										
(2) 教育委員会の会議の公開、 保護者や地域住民への情報発信	①教育委員会会議の傍聴者の状況	実現度↑ A <table><tr><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> C B A →重要度			★							教育委員会の活動を公開していくことは重要なことであるので、重要度はAとした。 令和2年度の傍聴者はなかったが、会議の予定及び傍聴できる旨の説明を町ホームページ上で行っているため実現度はAとした。
			★									
②議事録の公開、広報・公聴活動の状況	実現度↑ A <table><tr><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> C B A →重要度			★							議事録の公開は、会議の公開に付随する事項であるので、重要度をAとした。 議事録は町ホームページ上で公開しているため実現度をAとした。	
		★										
(3) 教育委員会と事務局との連携	○教育委員会と事務局との連携	実現度↑ A <table><tr><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> C B A →重要度			★							教育行政を進めるうえで、教育委員会と事務局との連携は非常に重要であるため、重要度はAとした。 教育委員会と事務局の連携により教育委員会会議の場において議事はスムーズに進行しており、会議以外の場においても教育委員会と事務局の連携はとれている。以上のことから実現度はAとした。
		★										

大項目 1 教育委員会の活動

中項目	小項目	マトリクス表	点検・評価																				
(4) 教育委員会と首長の連携	○教育委員会と首長との意見交換会の実施	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2">C</td><td>B</td><td>A</td></tr><tr><td colspan="4">→重要度</td></tr></table>	A			★	B				C				C		B	A	→重要度				町長・町長部局との連携は必要であり重要度はAとした。 地方教育行政の組織及び運営に関する法律により開催が義務付けられている、教育委員と町長による総合教育会議も令和2年度は2回実施し、町の教育の方向性について協議がなされた。以上のことから実現度はAとした。
		A			★																		
B																							
C																							
C		B	A																				
→重要度																							
(5) 教育委員の自己研鑽	○研修会への参加状況	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2">C</td><td>B</td><td>A</td></tr><tr><td colspan="4">→重要度</td></tr></table>	A				B			★	C				C		B	A	→重要度				教育委員が自己の研修を行って、意識向上に努めることの意義は大きく重要度はAとした。 実現度は、研修の参加回数を指標とした。例年であれば県教育委員会主催の研修会に出席し、田方地区2市1町教育委員意見交換会にも参加しているが、新型コロナウイルス感染症感染防止対策により中止。また、教育委員会定例会時に教育長を中心とした自主的な研修も行っており、実現度はBとした。
		A																					
B			★																				
C																							
C		B	A																				
→重要度																							
(6) 学校及び教育施設に対する 支援・条件整備	①学校訪問	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2">C</td><td>B</td><td>A</td></tr><tr><td colspan="4">→重要度</td></tr></table>	A				B			★	C				C		B	A	→重要度				教育の中心である児童・生徒たちが学ぶ学校・園への訪問は、教育現場を把握する上で必要不可欠であり重要度をAとした。 実現度は訪問回数を指標とした。令和2年度は教育委員会開催前に各校・園を訪問して校（園）長との意見交換、授業参観、施設設備の状況確認、給食の試食を行った。町内小学校5校、中学校2校、町立幼稚園6園及び関連施設として町立保育園1園を訪問した。 教育現場における施設の状態、授業等の状況などを理解するためにも、今後も新型コロナウイルス感染症感染防止対策に配慮し実施すべき事業と位置付ける。
		A																					
	B			★																			
	C																						
C		B	A																				
→重要度																							
	②所管施設の訪問	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td colspan="2">C</td><td>B</td><td>A</td></tr><tr><td colspan="4">→重要度</td></tr></table>	A				B				C			★	C		B	A	→重要度				社会教育施設への訪問は重要度が高くAとした。 令和元年度は、社会教育及び社会体育施設等は、新型コロナウイルス感染症感染防止対策に配慮し視察を行わなかったため実現度はCとした。 生涯学習等関係施設の運営状況や管理などを理解するためにも、今後も新型コロナウイルス感染症感染防止対策に配慮し実施すべき事業と位置付ける。
		A																					
B																							
C			★																				
C		B	A																				
→重要度																							

第2 函南町教育委員会の自己点検・評価シート

自己点検・評価の考え方

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について自己点検・評価を行う。点検・評価シートでは、教育委員会の責任体制を明確化するため、「教育委員会の活動」、「教育委員会が管理・執行する事務」、「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」に分けた。「教育委員会の活動」では教育委員会会議に係る事項や教育委員研修などの教育委員自身が行っている活動についての点検・評価を行う。「教育委員会が管理・執行する事務」については、函南町教育委員会規則に則り、教育委員会の責任により実行すべき事項について自ら点検を行う。「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」については、『令和2年度教育要覧』に示されている教育行政の方針「函南町教育大綱」の実現に向けてに基づき、目標、基本方針、施策の柱を設定し点検・評価を行う。

《マトリクス表の見方》		
(実現度)		(重要度)
A	… 概ね達成	A … 非常に重要
B	… もう少しで達成	B … 重要
C	… 普通	C … 普通

大項目 2 教育委員会が管理・執行する事務

中項目	マトリクス表	点検・評価																
(1) 学校教育又は社会教育に関する一般方針を定めること	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> →重要度	A			★	B				C					C	B	A	教育に関する方針を定めることは重要度が高くAである。 「第六次函南町総合計画」の基本理念である「環境・健康・交流都市函南 ～住んでよし、訪れてよし 函南町～」に基づき、令和元年度の函南町教育目標を「豊かな感性と『生きる力』をもつ子どもの育成」と定めた。また、総合教育会議において令和2年度からの新たな教育大綱を定めたため、実現度はAとした。
A			★															
B																		
C																		
	C	B	A															
(2) 学校・公民館・文化センター及び図書館の設置及び廃止を決定すること	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> →重要度	A				B				C					C	B	A	令和2年度は設置及び廃止はなかった。
A																		
B																		
C																		
	C	B	A															
(3) 1件80万円を超える教育財産の取得を申し出ること	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> →重要度	A				B				C					C	B	A	令和2年度に該当する備品の購入はなかった。
A																		
B																		
C																		
	C	B	A															
(4) 県費負担教職員の懲戒及び県費負担教員たる校長の任免その他の進退について内申すること	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> →重要度	A			★	B				C					C	B	A	県費負担教職員の人事異動の内申について、2月定例教育委員会で審議した。 重要度Aとし、実現度Aとした。
A			★															
B																		
C																		
	C	B	A															
(5) 県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を定めること	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> →重要度	A			★	B				C					C	B	A	教職員の不祥事については、世間の注目度も高く、重要度をAとした。年度当初や必要な都度、各学校長より教職員へサービスについての指導を実施しており、実現度もAとした。 なお、特段不祥事は発生していない。
A			★															
B																		
C																		
	C	B	A															

大項目 2 教育委員会が管理・執行する事務

中項目	マトリクス表	点検・評価																				
(6) (4)、(5)のほか人事の一般方針を定め及び懲戒を行うこと	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr><tr><td></td><td colspan="3">→重要度</td></tr></table>	A			★	B				C					C	B	A		→重要度			県費負担教職員の人事の一般方針について、2月教育委員会で審議した。 重要度Aとし、実現度Aとした。
A			★																			
B																						
C																						
	C	B	A																			
	→重要度																					
(7) 県費負担教員以外の校長及び図書館長の任免を行うこと	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr><tr><td></td><td colspan="3">→重要度</td></tr></table>	A				B				C					C	B	A		→重要度			令和2年度の新たな任命をしていない。
A																						
B																						
C																						
	C	B	A																			
	→重要度																					
(8) 教育委員会事務局及び教育機関の職員の任免を行うこと	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr><tr><td></td><td colspan="3">→重要度</td></tr></table>	A			★	B				C					C	B	A		→重要度			令和2年度の新たな事務局及び教育機関職員の任免について、3月定例教育委員会で承認した。 重要度、実現度ともAとした。
A			★																			
B																						
C																						
	C	B	A																			
	→重要度																					
(9) 学校・公民館・文化センター及び図書館の敷地を選定すること	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr><tr><td></td><td colspan="3">→重要度</td></tr></table>	A				B				C					C	B	A		→重要度			令和2年度は新たな敷地選定はしていない。
A																						
B																						
C																						
	C	B	A																			
	→重要度																					
(10) 1件130万円以上の工事の計画を策定すること	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr><tr><td></td><td colspan="3">→重要度</td></tr></table>	A			★	B				C					C	B	A		→重要度			令和2年度教育費当初予算要求の中で、安心、安全、快適な学習環境を提供するため、必要な工事計画について2月定例教育委員会で審議した。 重要度Aとし、実現度Aとした。
A			★																			
B																						
C																						
	C	B	A																			
	→重要度																					
(11) 教育委員会規則の制定又は改廃を行うこと	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr><tr><td></td><td colspan="3">→重要度</td></tr></table>	A			★	B				C					C	B	A		→重要度			以下の規則等の制定、改正を行った。 函南町教育研究会事業費補助金交付要綱の一部改正、函南町立中学校部活動等振興会事業費補助金交付要綱の一部改正、函南町社会教育団体運営費等補助金交付要綱の一部改正、函南町学校運営協議会規則の一部改正、かなみ仏の里美術館の設置、管理等に関する条例施行規則の一部を改正する規則、函南町史跡箱根旧街道災害復旧整備委員会設置要綱の制定を審議し承認した。 重要度Aであり、実現度Aとした。
A			★																			
B																						
C																						
	C	B	A																			
	→重要度																					
(12) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を申出ること	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr><tr><td></td><td colspan="3">→重要度</td></tr></table>	A			★	B				C					C	B	A		→重要度			令和2年度第4号補正予算(5月定例委員会)、令和元年度決算報告、令和2年度第5号補正予算(8月定例委員会)、令和2年度第7号補正予算(11月定例委員会)、令和3年度当初予算、令和2年度第9号補正予算(2月定例委員会)を審議し承認した。新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金や公立学校情報機器整備費補助金を活用するなど町の財政負担にも配慮した予算措置を実施した。よって重要度Aとし、実現度Aとした。
A			★																			
B																						
C																						
	C	B	A																			
	→重要度																					

大項目 2 教育委員会が管理・執行する事務

中項目	マトリクス表	点検・評価																
(13) 法令及び条例に定めのある附属機関等の委員の任命又は委嘱及び解任又は解職を行うこと	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> →重要度	A			★	B				C					C	B	A	函南町社会教育委員、函南町公民館運営審議会委員、函南町放課後子どもプラン運営委員、函南町立図書館協議会委員、函南町学校運営協議会委員、函南町就学支援委員、函南町結核対策委員、函南町いじめ問題対策専門委員、函南町スポーツ推進審議委員、函南町放課後子ども教室コーディネーター、函南町立中学校学校医、函南町立幼稚園薬剤師、いじめ防止等生徒指導連絡協議会委員、函南町スポーツ推進委員、函南町文化財保護審議委員、かんなみ仏の里美術館運営審議会委員、函南町史跡箱根旧街道災害復旧整備委員会委員の委嘱を行った。 重要度A、実現度Aとした。
A			★															
B																		
C																		
	C	B	A															
(14) 校長、教員その他の教育関係職員の研修の一般方針を定めること	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td>★</td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> →重要度	A		★		B				C					C	B	A	教育大綱2の令和2年度 教育推進の重点を定め、その(1)学校教育の充実イ目標の重点内容に基づいて次の研修を実施した。 初任者研修会、校長会、いじめ防止等生徒指導連絡協議会、不登校連絡協議会、教育の情報化研究推進委員会、教務主任研修会、特別支援コーディネーター研修会、支援員研修会等を実施した。 重要度Bとし、実現度Aとした。
A		★																
B																		
C																		
	C	B	A															
(15) 学齢児童生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> →重要度	A				B				C					C	B	A	令和2年度は新たな区域の設定、変更はなかった。
A																		
B																		
C																		
	C	B	A															
(16) 教科用図書の採択に関すること	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> →重要度	A			★	B				C					C	B	A	令和3年度から6年度使用の小学校教科用図書及び令和2年度使用の中学校教科用図書の採択について、6月定例教育委員会で審議した。 重要度Aとし、実現度Aとした。
A			★															
B																		
C																		
	C	B	A															
(17) 文化財の指定及び解除に関すること	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> →重要度	A				B				C					C	B	A	令和2年度は文化財の指定及び解除はなかった。
A																		
B																		
C																		
	C	B	A															

第2 函南町教育委員会の自己点検・評価シート

自己点検・評価の考え方

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について自己点検・評価を行う。点検・評価シートでは、教育委員会の責任体制を明確化するため、「教育委員会の活動」、「教育委員会が管理・執行する事務」、「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」に分けた。「教育委員会の活動」では教育委員会会議に係る事項や教育委員研修などの教育委員自身が行っている活動についての点検・評価を行う。「教育委員会が管理・執行する事務」については、函南町教育委員会規則に則り、教育委員会の責任により実行すべき事項について自ら点検を行う。「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」については、『令和2年度教育要覧』に示されている教育行政の方針「函南町教育大綱」の実現に向けてに基づき、目標、基本方針、施策の柱を設定し点検・評価を行う。

<マトリクス表の見方>
 (実現度)

(重要度)

A ... 概ね達成

A ... 非常に重要

B ... もう少しで達成

B ... 重要

C ... 普通

C ... 普通

大項目 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	細項目	マトリクス表	点検・評価																
(1) 知性を高め、魅力ある学校づくりの推進	◆学びに向かう力を伸ばす学習	(ア) 赤ちゃんから高齢者までの読書活動を推進し、生涯学習のまちづくりに向けて、学びの機会の充実やボランティア等指導者の養成と活用を図ります。	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="3">C B A</td><td>→重要度</td></tr></table>	A			★	B				C				C B A			→重要度	「読書のまち・かなみ宣言」に基づき、赤ちゃんから高齢者までの読書推進に取り組み、知識と情報拠点の場として、学びの機会の充実を図る役割を果たしている為、重要度をAとした。 新型コロナウイルス感染症感染防止対策を徹底しながら運営し、新型コロナウイルス地方創生臨時交付金を活用して図書消毒機・空気清浄機等を導入し、来館者が安心して利用できる環境整備を図った。また、学校への貸し出し用レファレンス資料を充実し、幼稚園・保育園等への「テーマ貸出」を年間にわたり実施するなど非来館型サービスに努めた。レファレンスサービスや館内本の展示コーナーを増設し情報発信を高めた等により実現度もAとした。
		A			★															
	B																			
	C																			
C B A			→重要度																	
(イ) 児童生徒の情報活用能力の育成に向け、ICTを活用した教育活動を推進し、授業の改善を図ります。	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="3">C B A</td><td>→重要度</td></tr></table>	A			★	B				C				C B A			→重要度	指導要領にも示され、これからの時代を生き抜く子どもたちにぜひとも身につけさせたい力であるため、重要度はAとした。 函南町GIGAスクール構想を立ち上げ、その実現のため、アクセス環境の整備と児童生徒への一人一台端末の配備を行い、新たな教育環境整備を短期間で行ったことから実現度はAとした。		
A			★																	
B																				
C																				
C B A			→重要度																	
◆勤労観・職業観や郷土愛を育む教育	(ア) 学校・地域・企業等が連携し、職場体験等の活動キャリア教育を進め、児童生徒一人一人に望ましい勤労観、職業観を育成します。また、中高連携により確かな進路指導に取り組めます。	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td>★</td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="3">C B A</td><td>→重要度</td></tr></table>	A				B		★		C				C B A			→重要度	自己実現を目指した進路指導や、キャリア教育については、特化した取り組みの他、様々な場面で取り組むべきことであるため、重要度はBとした。 教育委員会の指導の下、各小中学校では、職業調べや職業講話、職場体験等、計画的に行われる予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染防止対策により、実施できなかったことがあるため実現度はBとした。	
	A																			
B		★																		
C																				
C B A			→重要度																	
	(イ) 郷土の歴史や文化に対する誇りや愛着を育むため、文化財等を活用した地域に関する教育を推進します。	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="3">C B A</td><td>→重要度</td></tr></table>	A			★	B				C				C B A			→重要度	地域の先人が伝え、残した文化や歴史について、文化財等を用いた「学び」を推進することは、郷土に対する誇りや愛着を育むことに効果的であるため、重要度はAとした。 町内の小中学校では、仏の里美術館を教育資源と位置づけ、地域学習や修学旅行の事前学習の場として、毎年継続して活用している。小学校社会科副読本『函南たんけんたい』を改定し、郷土に関する情報を再編集することにより、最新の情報を元に郷土理解を深める準備ができたことから実現度もAとした。	
A			★																	
B																				
C																				
C B A			→重要度																	

大項目 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	細項目	マトリクス表	点検・評価																				
(1) 知性を高め、魅力ある学校づくりの推進	◆ 勤労観・職業観や郷土愛を育む教育	(ウ) スポーツ・健康長寿フェスタを実施し、町民の健康づくりを推進します。	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2">C</td><td>B</td><td>A</td></tr><tr><td colspan="4">→重要度</td></tr></table>	A				B			★	C				C		B	A	→重要度				スポーツを通じて、赤ちゃんから高齢者・障がいのある人まで、全ての町民が生き生きとした生活を送るとともに、地域住民の交流や心豊かな暮らしを育むことができる新たな生涯スポーツ社会の実現を目指していることから重要度はAとした。 令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、スポーツ・健康長寿フェスタは中止、他のスポーツイベントも縮小開催となったことを考慮し、実現度はBとした。
	A																							
	B			★																				
	C																							
	C		B	A																				
	→重要度																							
	◆ 質の高い教育と教職員の心身の健康を保持増進する環境整備	(ア) 教職員の長時間勤務の改善を図ります。	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2">C</td><td>B</td><td>A</td></tr><tr><td colspan="4">→重要度</td></tr></table>	A				B			★	C				C		B	A	→重要度				教育職員が心身ともに健康で、その職責を遂行するためには、働きやすい環境を整えることが必要であり、決められた勤務時間の中で、授業や授業準備、児童生徒と向き合う時間を確保することが喫緊の課題であることから、重要度はAとした。 業務改善委員会において、勤務状況の把握とともに、「函南町立学校教育職員の勤務時間の上限に関する方針」を定めたり各学校において定時退庁を促す試みを行うなど取り組んでおり、一定の効果は得ている。よって実現度はBとした。
		A																						
B				★																				
C																								
C		B	A																					
→重要度																								
(イ) 心身ともに健康で「頼もしい教職員」の育成を図り、不祥事根絶に努め、共生社会を支える人権尊重の教育と啓発に取り組みます。	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2">C</td><td>B</td><td>A</td></tr><tr><td colspan="4">→重要度</td></tr></table>	A			★	B				C				C		B	A	→重要度				静岡県教職員研修指針で述べられている「頼もしい教職員」の育成であり、重要度はAとした。 教職員の定期的な健康診断を実施したり、働き方改革に繋げるため、校長、学校事務、事務局職員が一堂に会す業務改善委員会を開催し、教職員の健康管理に努めており、不祥事についても起こしていない。人権教育の重要度についても、校長会等を利用し指導している。大きな問題もなかったので実現度もAとした。		
A			★																					
B																								
C																								
C		B	A																					
→重要度																								
(ウ) 教職員の大量交代期を迎え、教職員の資質向上が重要な課題となっています。教職員としての専門性やスキルが求められる中、授業力向上をはじめとする諸課題に対応する研修を行います。	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2">C</td><td>B</td><td>A</td></tr><tr><td colspan="4">→重要度</td></tr></table>	A			★	B				C				C		B	A	→重要度				今日の教育現場の多様化・複雑化する中、教員の専門性やスキル向上は必須であり、重要度はAとした。 県費負担再任用により町内小中学校退職校長が新規採用職員の指導的役割を果たすため配置している。また学校教育課に指導主事を配置して教員向けの各種研修会を企画し、充実を図っている。実現度もAとした。		
A			★																					
B																								
C																								
C		B	A																					
→重要度																								
(エ) 部活動を支援する外部指導者の活用等、運動部の部活動の在り方と支援について研究します。	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td colspan="2">C</td><td>B</td><td>A</td></tr><tr><td colspan="4">→重要度</td></tr></table>	A				B				C			★	C		B	A	→重要度				子どもたちの多様なニーズに合わせた体制作りや教師の多忙化問題等急務の課題であるため、重要度はAとした。しかし、外部コーチなどの活用は行っているものの、外部指導員の導入等函南町単独で取り組むことは難しく、進展していないため実現度はCとした。		
A																								
B																								
C			★																					
C		B	A																					
→重要度																								
◆ 子供たちの命を守る安全・安心の確保と教育環境の整備	(ア) 子供自らが判断し、危険回避能力を身に付ける防災教育、安全教育を実施します。	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2">C</td><td>B</td><td>A</td></tr><tr><td colspan="4">→重要度</td></tr></table>	A				B			★	C				C		B	A	→重要度				いつ起こるか分からない災害に備え、生きるために自ら判断し行動を起こすことは大変重要であり重要度はAとした。 学校での防災訓練や地域防災の防災訓練に参加、町長部局の企画・立案による防災キャンプの実施などが予定されていたが、新型コロナウイルス感染症感染防止のため事業の中止となったものがあることから実現度はBとした。	
	A																							
B			★																					
C																								
C		B	A																					
→重要度																								
(イ) 安心・安全な学校施設の整備のために、教育環境を改善する取り組みを進めます。	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2">C</td><td>B</td><td>A</td></tr><tr><td colspan="4">→重要度</td></tr></table>	A			★	B				C				C		B	A	→重要度				児童・生徒の安全安心な教育環境を確保するため、第六次函南町総合計画に基づいて、これまでも各学校校舎、体育館、園舎の耐震補強、大規模改修工事を進めおり、今後も計画的に実施が必要であるため、重要度はAとした。 令和2年度は西小学校及び東中学校トイレの洋式化、桑村小学校体育館への新規トイレ整備、全小学校の防犯カメラ設置、また、耐震性に支障があるポンプ室やごみ置場など学校施設の改修などを実施したことから実現度Aとした。		
A			★																					
B																								
C																								
C		B	A																					
→重要度																								

大項目 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	細項目	マトリクス表	点検・評価																
(1) 知性を高め、魅力ある学校づくりの推進	◆幼児教育の質の向上	(ア) 家庭のニーズや保護者の状況に応じた支援により家庭の教育力向上を図り、健康づくり課、子育て支援課、教育委員会等、関係機関と連携し、幼児期教育の充実に努めるために、「幼児教育センター」を新たに設置し、小・中学校への円滑な接続を図ります。	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="3">C B A</td><td>→重要度</td></tr></table>	A			★	B				C				C B A			→重要度	就学前からの幼児教育を充実させることは子供の成長に大きく関わることで、重要度はAとした。 令和2年4月1日付けで幼児教育センターを学校教育課内に設置し、元学校長や元幼稚園の園長経験職員を配置。幼稚園や保育園を訪問し、就学支援に結びつけたり、就学前検診の確実な受診を目指した取り組み、保護者の希望によりことばの教室を実施するなど対応できているため実現度もAとした。
	A			★																
B																				
C																				
C B A			→重要度																	
◆特別支援教育の推進	(ア) 「徳・知・体」のバランスのとれた「生きる力」の育成に取り組み、発達障がい等を含めた幼児、児童生徒の教育的ニーズに対応し、教育の各ステージで指導と支援の充実に努めます。	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="3">C B A</td><td>→重要度</td></tr></table>	A			★	B				C				C B A			→重要度	それぞれのステージにおける子供の教育的ニーズに対応した指導、支援を充実させ、「生きる力」を育むことの重要性を鑑み、重要度はAとした。発達障害等を抱えた子供に対して、特別支援学級、通級指導教室、ことばの教室が整備できている。令和2年度からの新支援学級、中学通級指導教室の実施、さらに幼児教育センターが保幼小中の「接続カリキュラム」の整備を進めていることから、実現度もAとした。	
A			★																	
B																				
C																				
C B A			→重要度																	
(2) 未来を拓く多様な人材の育成	◆多様な学習機会の提供	(ア) 新しい時代を展望した教育行政の推進に向けて、実効性のある施策が展開できるよう各部局と一層の連携を図ります。	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="3">C B A</td><td>→重要度</td></tr></table>	A			★	B				C				C B A			→重要度	町長・町長部局との連携は、町の教育行政推進上密接かつ重要であり重要度はAとした。 年2回総合教育会議において、町長と各教育施策についての協議を実施した。また幼稚園、保育園を所管する子育て支援課や交通安全や防災を所管する総務課他、他部署と情報共有や連携のうえ、各種事業を展開した。 以上のことから実現度はAとした。
		A			★															
B																				
C																				
C B A			→重要度																	
(イ) 地域の教育力を園・学校に生かすために「函南町地域学校協働本部」に地域学校協働活動推進委員を配置し、専門性をもったボランティアの発掘や紹介に努めます。	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="3">C B A</td><td>→重要度</td></tr></table>	A			★	B				C				C B A			→重要度	地域学校協働活動は、地域行事や学習支援、イベントなど地域ボランティア協力によって成り立つ事業であり、地域住民等の積極的な参加を得ることができなければ成り立たないため、重要度はAとした。 地域の方の紹介や地域へ募集チラシを配布するなど、人材の発掘に努めている。 以上のことから実現度はAとした。		
A			★																	
B																				
C																				
C B A			→重要度																	
(3) 社会総がかりで取り組む教育の現実	◆学校と地域の連携・協働の充実	(ア) 園・学校における教育推進の重点に「交流」の視点を位置付け、「多様な学び」や「体験活動」の充実と活性化を図ります。	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="3">C B A</td><td>→重要度</td></tr></table>	A				B			★	C				C B A			→重要度	開かれた園・学校づくりを進める上で、「交流」の視点を重視して多様な学びや体験活動を充実させることは重要であり、重要度をAとした。 それぞれの園や学校では、相互に積極的な情報提供をしている。例年、丹那小学校、桑村小学校をコミュニティースクールとして設置し、丹那小では「玄岳遠足」や「オール丹那運動会」等を実施、桑村小では日常的な登下校の見守り、放課後補充学習「桑村道場」等を実施するなど、地域学校協働本部事業を活用し地域の教育力を学校等へ提供できる環境整備を進めているが、新型コロナウイルス感染症感染防止対策で事業が中止又は縮小により実施できないものがあつた。 よって実現度をBとした。
		A																		
B			★																	
C																				
C B A			→重要度																	
(イ) 各区等での地域活動に児童生徒を積極的に参加させ、幅広い交流活動を通して、互いの理解と信頼を深め合い、成長できる教育風土を醸成します。	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td colspan="3">C B A</td><td>→重要度</td></tr></table>	A				B				C			★	C B A			→重要度	学校生活だけでは体験できない地域での様々な活動に参加することは、児童生徒の「人間力」の形成において有意義であるため、重要度はAとした。これまで地域活動への児童生徒の参加が定着しており、多くの児童生徒が区の防災訓練や祭典、体育祭、清掃活動などの区の活動に参加していたが、新型コロナウイルス感染症感染防止対策により、催し物自体が開催不可となったため、実現度はCとした。		
A																				
B																				
C			★																	
C B A			→重要度																	

大項目 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	細項目	マトリクス表	点検・評価																
(3) 社会総がかりで取り組む教育の実現	◆学校と地域の連携・協働の充実	(ウ) 平成29年度に指定した丹那小学校、桑村小学校の取り組みを元に小中学校全7校を「コミュニティスクール」とします。地域とともにある学校づくりをテーマに、目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子供たちの豊かな成長を育む教育活動を推進します。	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="3">C B A</td><td>→重要度</td></tr></table>	A			★	B				C				C B A			→重要度	地域とともにある学校を実現するために、小中学校のコミュニティスクール化は重要であるため重要度はAとした。 町内全小中学校を令和2年度からコミュニティスクールとし、学校と地域住民からなる協議会が目標やビジョンを共有し一体となって豊かな成長を育む教育活動を進めているため、実現度はAとした。
		A			★															
	B																			
	C																			
C B A			→重要度																	
(エ) 地域協働学校活動推進員を置き、コミュニティスクールと地域学校協働本部事業のコーディネートを行います。	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="3">C B A</td><td>→重要度</td></tr></table>	A			★	B				C				C B A			→重要度	地域と学校との持続可能な協働体制を築くためには、地域協働学校活動が欠かせずまた推進員が重要な役割を担うため、重要度はAとした。 学校運営協議会の会合に地域学校協働活動推進員が参加し、地域と学校をつなぎコミュニティスクール運営のコーディネートの役割を実践しているため、実現度もAとした。		
A			★																	
B																				
C																				
C B A			→重要度																	
◆チームとして児童生徒を支援する体制づくり	(ア) 児童生徒が自他を大事にする態度や行動力を育み、いじめ、不登校等の解消、家庭に問題を抱える児童生徒への対応のため、教育相談体制の充実や教職員・学校の対応力向上に努めます。	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="3">C B A</td><td>→重要度</td></tr></table>	A			★	B				C				C B A			→重要度	不登校傾向を示す児童生徒は年々増加しており、多様化する問題傾向への対応は急務である。そのための相談体制の充実や学校の対応能力の向上は必須の内容であるので重要度はAとした。函南町いじめ防止等生徒指導連絡協議会及び情報交換会を年間5回開催し予防、対策等について協議し、不登校や家庭に問題を抱える児童生徒の教育相談を教育支援センターが行い、学校連との連携しそれぞれの児童生徒に寄り添った対応ができており、実現度はAとした。	
	A			★																
B																				
C																				
C B A			→重要度																	
(イ) 「函南町いじめ防止等生徒指導連絡協議会条例」および「同運営要綱」に則し、いじめの未然防止を第一目標とし、早期発見、早期対応、早期解決を図ります。	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="3">C B A</td><td>→重要度</td></tr></table>	A			★	B				C				C B A			→重要度	命を守る教育についての重要度は、言うまでもなくAである。いじめの「重大事態」に発展する事案はなかった。各校にいじめの定義や、早期発見、早期対応、早期解決の大切さが浸透し、教育委員会事務局、教育支援センター等と連携し組織的な対応が実践できているため、実現度もAとした。		
A			★																	
B																				
C																				
C B A			→重要度																	

全 体 評 価

今回の教育委員会の自己点検・評価は第14回目であり、令和2年度から新たにスタートした教育大綱をもとに実施した。

大項目1の教育委員会の活動については、教育委員会会議を中心に教育委員会のなすべき事項の確認をし、実施状況の点検を行ったことにより、現状を把握したうえでの活動を行うことができた。

大項目2の教育委員会が管理・執行する事務については、項目ごとの事務の点検と評価により事業の執行状況の確認ができた。

大項目3の教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務の点検・評価を行うことにより、事務局が執行すべき事務の実施状況が確認でき、新型コロナウイルス感染症感染防止による影響を受けた事業を除き、学校教育課、生涯学習課共に概ね計画通りに事業が執行されていることが確認できた。

教育委員会の活動の状況を確認し、町民が満足する教育行政を推進するため、次年度以降も点検・評価を実施していきたい。

第4 総合評価

令和2年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、自己点検及び評価を実施し、その結果を今回の報告書にまとめました。

教育委員会の活動については、毎月開かれる定例教育委員会を開催して教育に関する重要事項を審議いたしました。また、教育委員会として学校等教育現場の状況を理解したうえで活動することが重要と考えており、町内小中学校、幼稚園、保育園及び生涯学習課関連施設の視察を実施し、各校（園）長や事務職員等から説明を受け、現場の実体を把握することに努めました。令和2年度からスタートした新たな教育大綱を柱として、町の総合教育会議を2回実施し、町長と町の教育の方向性を協議しました。

教育委員会が管理・執行する事務については、項目を個別に点検・評価することにより、事業などの執行状況の確認ができ、成果を検証いたしました。学校教育・社会教育、文化、スポーツとそれぞれの事業において、工夫や改善を心がけ事業を推し進め、その結果をもって自己点検・評価を行う必要性を確認しました。

施設面では、耐震性で指摘のあった構造物等の改修やトイレの洋式化整備、ICT教育を多様化するための高速大容量ネットワークの構築、また各種生涯学習課が所管する貸出施設等の改善・改修を計画的に整えることができました。

新型コロナウイルス感染症が、世界中で感染拡大が広がり、国内においても感染拡大する事態となり、国から令和2年4月9日から令和2年5月31日において休業要請がなされ学校活動の中断、また生涯学習関係施設においては、施設利用制限が余儀なくされました。そうした事態を受け、感染拡大防止に繋げる対策として、新型コロナウイルス地方創生臨時交付金等を活用し、消毒薬配備や施設の換気対策、また感染予防に配慮した備品の購入など学校現場や各種施設の安全を施して参りました。更に国が令和元年度から5年間でハード整備を進めようとしていた「GIGAスクール構想」が新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、オンラインを活用した授業や学習の必要性が高まり児童・生徒に1人1台のコンピューター端末整備が急がれたことも相まって、当町においても「函南町GIGAスクール構想」が進み、全ての児童生徒への端末整備が実現しました。

今後は、「函南町GIGAスクール構想」に基づく教育の充実、教職員に対する研修機会の提供、幼児教育センターを核とした保幼小中接続連携の強化、学校及び教育支援センター並びに関係機関と連携し支援が必要な児童への対応、また各種施設の新型コロナウイルス感染症感染防止の徹底と、施設や設備の安全性確保に努め、多様化する子供たち一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる学校教育と併せて町民の社会教育、文化、スポーツの推進と生涯学習社会の成熟を目指して参ります。

最後に、学識経験者の皆さまにおかれましては、お忙しい中、教育委員会の自己点検・評価に対する貴重なご意見をいただきありがとうございました。いただいたご意見を参考に、函南の教育・文化に責任を持つ組織として、不易流行を的確にとらえ、より質の高い教育、安心安全快適な環境作り、生涯に渡り学び続けることができる教育を目指していきます。今後とも、教育委員会の活動に忌憚のないご意見を賜りたいと考えております。

函南町教育長 久保田 浩子

函南町教育委員会後援申請一覧 (令和3年11月分)

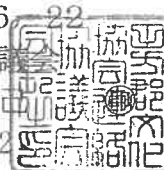
番号	事業名	主催者名	開催日 開催場所	入場料	過去承認	報告有無
1	田方文化協会 文化祭	田方文化協会連絡協議会 会長 佐野 勝己	・芸能の部 令和4年1月30日(日) 葦山時代劇場 ・展示の部 令和4年2月19日(土)～20日(日) 伊豆長岡あやめ会館3階	無料	有	有
2	以下余白					
3						
4						
5						
6						
7						
8						

(第1号様式)

令和3年10月20日

函南町教育委員会 教育長 様

住 所 伊豆の国市原木1336-22
申請者 田方文化協会連絡協議会
氏 名 会長 佐野 勝 己
(連絡先) 090-5610-3492



後援申請依頼書

下記のとおり事業を開催しますので、函南町教育委員会の後援を賜りたく申請いたします。

記

事業名	田方文化協会文化祭 芸能の部(歌唱・演奏・朗読) 展示の部(手工芸・陶芸)		
期 日	芸能の部 令和4年1月30日(日) 展示の部 令和4年2月19日(土)～20日(日)		
会 場	芸能の部 韮山時代劇場 展示の部 伊豆長岡あやめ会館 3 階		
主 催 者	団体名	田方文化協会連絡協議会 (伊豆の国市・伊豆市・函南町 文化協会)	
	代表者	田方文化協会連絡協議会 会長 佐野 勝 己	
	所在地	伊豆の国市原木1336-22	
共催又は 後援団体 (申請予定 を含める)	有・無 (有りの 場合は その 名称)	共 催	伊豆の国市
		後 援 (予定)	伊豆の国市・伊豆市・函南町 各教育委員会 伊豆の国市商工会 伊豆の国市観光協会 静岡新聞社・SBS 伊豆日日新聞 伊豆箱根鉄道 FMIS みらいずステーション FMいずのくに



事業の対象と目的	○事業の対象 伊豆の国市 伊豆市 函南町及び近隣市・町民 一般 ○目的 ・静岡県地域文化団体連絡協議会の令和3年度広域文化事業として東部地区・第4ブロック(伊豆の国市 伊豆市 函南町)の田方文化協会連絡協議会(田文連)が日頃実践している文化活動の成果を公開いたします。 ・3市町文化協会各団体の研鑽成果を地域住民の方に公開披露し、地域文化の向上発展、および心豊かなまちづくりに貢献します。 ・各文化協会ならびに団体の交流 連携 親睦を図ると同時に、一層の芸技術等 資質の向上を図ります。		
事業内容	3市町文化協会に加盟している下記団体が参加し、芸能の部は伊豆の韮山時代劇場で、展示の部は伊豆長岡あやめ会館で開催するものです。 開催日時……芸能の部 令和4年1月30日(日) ○函南町………4団体 50名 (予定) ○伊豆市………8団体 120名 (") ○伊豆の国市……3団体 57名 (") 合計 15団体 227人 開催日時……展示の部 令和4年2月19日(土)・20(日) ○函南町………7団体 75名 (予定) ○伊豆市………6団体 36名 (") ○伊豆の国市……7団体 57名 (") 合計 20団体 168人		
申請理由	3市町文化協会が連携協力し上記の目標を達成するために、函南町教育委員会のご後援をいただき、旧田方地域(現 伊豆の国市 伊豆市 函南町)の文化の向上と発展、ならびに 心豊かな明るい町づくりに微力でも貢献できると思い申請いたします。		
入場料	有料 無料	有料の場合の金額	円

※ 開催の事業資料を添付してください。 ◎事業計画書(田文連理事会会議資料・実施要項)添付
 ※ 入場料が有料の場合は、収支予算書を添付してください。

令和3年度 田方文化協会連絡協議会(田文連)文化祭実施要項

1, 事業名 田方文化協会文化祭(芸能の部・展示の部)

2, 事業の目的 静岡県地域文化団体連絡協議会の、令和3年度広域文化事業として、東部地区・第4ブロック(伊豆市 伊豆の国市 函南町)の田方文化協会連絡協議会(田文連)が、日頃実践している文化活動の成果を、文化祭を通して公開することで、地域文化の向上と発展及び心豊かな街づくりに貢献し、また3市町文化協会の交流・関係・親睦を図ることを目的とする。

3, 部 門	芸 能 の 部	展 示 の 部
4, 日 時	令和4年1月30日(日)	令和4年2月19日(土)・20(日)
	8:30開場 開演 9:00～16:00	19日 開場 13:00～17:00 20日 開場 9:00～15:00
5, 会 場	韮山文化センター 時代劇場ホール	長岡あやめ会館 3F 多目的ホール
6, 出演・出展	歌 唱・演 奏・朗 読	手 工 芸・陶芸
団体数	15 団体 227人(予定)	20 団体 168人(予定)

7, 及び 参加者 3市町の文化協会に所属している団体

8, 対 象 伊豆の国市 伊豆市 函南町 および近隣の一般市民

9, 主 催 田方文化協会連絡協議会(当番会:伊豆の国市文化協会)

10, 共 催 伊 豆 の 国 市

11, 後 援 伊豆の国市教育委員会 伊豆市教育委員会 函南町教育委員会

伊豆の国市商工会 伊豆の国市観光協会

静岡新聞・静岡放送 伊豆日日新聞 伊豆箱根鉄道

FMいずのくに FMISみらいずステーション

12, 入場料 無 料

13, 感染症対策 基本的な感染対策を遵守し、伊豆の国市イベント開催時の異本の対象方針等に沿って実施する。なお、今後の社会情勢

14, 連絡先 伊豆の国市文化協会 会長:佐野 勝己 〒410-2124 伊豆の国市原木1336-22

TEL:055-949-0710 FAX:055-949-0710



函 企 第 164 号
令和 3 年 11 月 19 日

教育委員会
教育長 久保田 浩子 様

函南町長 仁科 喜世志

函南町表彰条例による被表彰者の決定について

平素より、町行政に対して御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、先に貴職より、令和 4 年新年初顔合わせ会における函南町表彰条例による被表彰者として、内申をいただきました下記の方について、町企画会議にて審議した結果、表彰することに決定しましたので、御報告申し上げますとともに内申等の御協力に対しまして厚くお礼を申し上げます。

なお、被表彰者の方には、当方より御案内を差し上げますことを申し添えます。

記

表彰決定者

功労表彰 山邊 義彦 様 仁田 703 番地の 1

担 当 者 企画財政課
電話番号 979-8101



函 企 第 165 号
令和 3 年 11 月 19 日

教育委員会
教育長 久保田 浩子 様

函南町長 仁科 喜世志

函南町表彰条例による被表彰者について

平素より、町行政に対しまして御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、先に貴職より、令和 4 年新年初顔合わせ会における函南町表彰条例による被表彰者として内申をいただきました下記の方について、町企画会議にて審議した結果、誠に申し訳ございませんが今回見送ることに決定いたしましたので、御報告申し上げますとともに内申等の御協力に対しまして厚くお礼を申し上げます。

記

- 1 被推薦者 函南町スクールアドバイザー
- 2 見送る理由 町の表彰条例の基準に該当しなかったため

〔 担 当 者 企画財政課
電話番号 979-8101 〕



教 社 第 366 号
令和3年 10 月 14 日

函南町教育委員会学校教育課長 様

静岡県教育委員会社会教育課長

令和3年度子供を育む地域活動団体表彰について（通知）

日頃より、本県社会教育の推進に御尽力を賜り、感謝申し上げます。

さて、このことにつきまして、厳正なる選考の結果、下記団体を被表彰団体として決定しましたのでお知らせします。

記

被表彰団体 函南町スクールアドバイザー

担 当 地域家庭班
電話番号 054-221-3115

別紙様式

子供を育む地域活動団体推薦書

1 団体名等

ふりがな 団 体 名	かんなみちよう 函南町スクールアドバイザー
ふりがな 代表者氏名	せりた としお 芹田 俊男
住 所	〒419-0107
電話番号	静岡県田方郡函南町平井 177-33

2 推薦理由（5行程度で簡潔に記入）

平成7年に組織されて以降、函南町内の学校（特に中学校）と連携し、問題行動を示す子供への指導や支援、課題を抱えた保護者に対する子育て支援など、継続して行っている。

学校だけでは対応しきれない問題に対し、元PTA役員で現在も保護司、民生委員といった地域で活躍する方々が「函南の子供は函南の大人が育てる」という共通認識のもと、長年にわたり親身になって対応している。

3 活動内容等

(1) 事業の目的 及び活動の方向性	・ 非行や問題行動を示す子供やその保護者に対し、学校と連携して指導する。 ・ 子供と継続的につながり、在学中だけでなく卒業後の生活を見守り、青少年の健全育成に貢献する。
(2) 活動体制等 (連携する団体、 子供・地域住民 等の参加状況、 活動年数等)	・ 連携する団体…町内小中学校、PTA、教育委員会 ・ 年間3回の「連携協議会」を実施 ①学校の年間計画を確認し、運動会、卒業式の見回り計画 ②夏季休業中の祭典パトロールの打合せ ③各学校との情報共有 ・ 元中学校PTA役員を中心に、約30名が活動（任期は設定していない）
(3) 活動内容及 び成果	・ 年度初め、長期休業後の「あいさつ運動」 ・ 本人、保護者と面談し、生活向上への助言や支援 ・ 学校行事（運動会、卒業式等）のパトロール活動 ・ 夜間のパトロール活動（祭典や少年の集まる公園、駅周辺など） これらの活動により、問題行動の解消や学校の安定化につながっている
(4) その他 特記事項	関係書籍 松井大助『地域・保護者&学校の連携で「荒れ」克服』学事出版、2018年

※会報等の広報物や活動を紹介した新聞記事、取組の様子を撮影した写真等、活動の様子が分かる資料を併せて御提出下さい。